

やさしく温かい社会づくり ～子育て、医療など暮らしの安全・安心の確保～

誰もが住み慣れた地域で、安全、安心に暮らし続けられるよう、足下の暮らしと地域の経済を守る対策に万全を期すとともに、人口減少問題にしっかりと向き合い、子ども政策や女性支援、医療、福祉の推進などやさしく温かい社会づくりを加速します。

■ 安定した暮らしと力強い経済の確保

社会経済情勢の変化に機動的に対応するとともに、道民生活の安定や足腰の強い地域経済の構築に取り組みます。

（政策展開の方向性）

エネルギー価格の高騰など社会経済情勢の変化に対応し、需要喚起策をはじめ、道民や事業者の皆様の支援にしっかりと取り組みます。また、道民生活の安定に向けて、生活に困窮されている方への支援や雇用の確保などに取り組むとともに、関係団体や金融機関とも連携して、中小企業や事業主の方々の経営基盤の強化、事業承継や事業再生、さらには創業支援や新事業展開、販路開拓などにより地域経済の活性化に取り組みます。

■ 子ども政策の一体的推進

安心して妊娠、出産、子育てができ、子どもたちが健やかに希望をもって成長できる環境づくりに一体的に取り組みます。

（政策展開の方向性）

子育てを社会全体で支える「子ども応援社会」に向けて、子ども政策を一元的に推進する体制を強化し、国の政策の活用を図りながら、市町村や民間との連携や当事者の参画を促進し、経済的負担の軽減や情報発信、サポート体制の充実を図るなど子育て世帯の支援に取り組みます。また、保育人材の育成や確保、幼児教育の充実を図るとともに、児童相談体制の強化などの児童虐待対策に取り組みます。結婚を望む方々を支援するとともに、周産期医療の維持確保、妊産婦や不妊治療への支援の充実などに取り組みます。

■ 安心できる地域医療の確保

安心して地域で医療を受けられるよう、医療のDXや人材確保などに取り組みます。

（政策展開の方向性）

遠隔医療など医療のデジタル化を推進するとともに、ドクターヘリ等の救急医療の確保や医療人材の育成や確保など地域における医療提供体制の充実に取り組みます。また、がん対策や難病支援、歯と口腔の健康を推進するとともに、再生医療をはじめとする高度先進医療の充実などに取り組みます。

（参考）DX：デジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること、Digital Transformationの略

やさしく温かい社会づくり ～子育て、医療など暮らしの安全・安心の確保～

■ 高齢者やケアラー支援の推進

高齢者が健康に暮らせる環境づくりを推進し、ケアラー支援の充実や介護現場の負担軽減などに取り組みます。

（政策展開の方向性）

デジタルを活用したヘルスケアの推進や健康保険業務の効率化の支援などにより、高齢者の健康づくりや生きがいづくりに向けた高齢者の社会参画を促進します。また、ヤングケアラーが相談しやすい環境づくりなどの支援を行うとともに、介護分野のDXを推進しながら、介護人材の育成や確保、地域包括ケアの充実などに取り組みます。

■ 誰もが暮らしやすい環境づくり

障がいのある方への生活支援など誰もがお互いを大切に、生き生きと暮らせる環境づくりなどに取り組みます。

（政策展開の方向性）

障がいのある方々への理解促進に取り組むとともに、地域での自立した生活に対する支援や施設における適切なサービスの確保などに取り組みます。また、外国人相談センターによる多言語での相談対応や災害時の支援を行うとともに、外国人が医療を受けやすい環境づくりに取り組みます。性の多様性に関する知識の普及や相談体制の整備、民間活動の促進を図り、関連情報を市町村と共有するなど理解促進に取り組みます。

■ 安全・安心な日常の確保

犯罪や交通事故などを防止するとともに、困難に直面する女性を支援するなど日常の安全・安心を確保します。

（政策展開の方向性）

特殊詐欺事件や消費者被害、インターネットによる犯罪など巧妙化する様々な問題への対策を強化するとともに、飲酒運転の根絶などに向けた交通安全運動に取り組みます。また、女性相談援助センターなどにより、貧困やDVといった困難に直面する女性への支援をはじめ、女性の経済的自立などを支援します。動物愛護管理センターの運用などにより、ペットの適正飼養の啓発や犬猫の引き取りなどの取組を推進します。

（参考）ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども

命を守り、暮らしを支える基盤づくり ～感染症や災害などへの備えや交通・物流基盤の強化～

新型コロナウイルス感染症の流行や災害の頻発・激甚化など様々なリスクを想定することが重要となる中、新たな感染症や巨大地震への備えなど本道の強靱化を図るとともに、命や暮らし、産業を支える交通・物流基盤の強化や被災地の復興などに着実に取り組みます。

■ 柔軟で機動的な感染症対策体制の構築

新たな感染症に対応するため、柔軟で機動的な体制を構築するなど今後の備えを強化します。

(政策展開の方向性)

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への地域と一体となった円滑な移行に向けて、医療提供体制の整備などに万全を期します。また、新たな感染症を見据え、司令塔機能や検査・研究機能の強化をはじめ、実践的な職員研修や訓練の実施など関係機関と連携を強化しながら、柔軟で機動的に対応できる体制を整備します。

■ 災害に強い地域づくり

巨大地震への備えを加速するとともに、河川などのインフラ整備や地域の防災力の底上げなど減災・防災に向けて取り組みます。

(政策展開の方向性)

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に備え、市町の避難施設の整備等の促進に向けて、道として財政支援を行います。また、河川の治水対策や土砂災害防止対策といったインフラ整備を着実に推進するなど強靱な北海道づくりに取り組むとともに、建設業の体質強化などを進めます。北海道DMATの司令塔機能を強化するとともに、要配慮者など被災者支援の充実、避難訓練や防災教育の強化、地域の防災組織づくりなどハード・ソフトの両面から防災・減災対策に取り組みます。災害対応において大きな役割を担う道内の自衛隊との連携強化に取り組み、国に対し体制強化を求めます。

(参考) 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震：房総半島東方沖から三陸海岸の東方沖を経て択捉島の東方沖までの日本海溝と千島海溝の地殻の境界等を震源とする地震 / DMAT：災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム、Disaster Medical Assistance Team の略

命を守り、暮らしを支える基盤づくり ～感染症や災害などへの備えや交通・物流基盤の強化～

■ 交通・物流ネットワークの充実・強化

北海道新幹線の効果を最大化する環境づくり、航空路線や道路網の充実、持続可能な物流の確保に取り組みます。

(政策展開の方向性)

新幹線の札幌延伸を着実に推進し、新幹線利用の促進や持続可能なまちづくり、交通ネットワークの強化に取り組みます。また、空港機能の強化や国際航空路線の誘致とともに、幹線道路ネットワークの整備を促進します。物流のDXや輸送の効率化の促進、輸送人材の育成確保など体質強化に取り組むとともに、全国を結ぶ鉄道貨物ネットワークが不可欠であるとの認識のもと、その維持に向けて国やJRなど関係の皆様と協議・検討を進めます。

■ 地域交通の確保と利用の促進

地域における公共交通の確保や効果的な利用の促進に取り組みます。

(政策展開の方向性)

地域交通の確保に向けて沿線自治体など関係の皆様と利用の促進に取り組むとともに、鉄道網のあり方に向けた協議・検討を進めます。また、地域の日常生活に欠かせないバス路線の維持確保、地域航空や離島航路の確保と利用の促進に取り組むとともに、MaaSなどのシームレス交通による利便性向上に取り組みます。

■ 北海道胆振東部地震からの着実な復興

地域の取組の支援や被災森林の早期復旧など着実な復興に取り組みます。

(政策展開の方向性)

被災地の皆様が将来にわたり安心して暮らしていけるよう、地域のポテンシャルを活かした取組を支援するとともに、胆振東部地震森林再生実施計画に基づく森林造成や治山対策など被災森林の着実な復旧に取り組みます。

(参考) MaaS : ICTを活用し、電車、バス、タクシー、自転車などあらゆるモビリティ (移動) を一つのサービスとして展開するもの、Mobility as a Serviceの略

持続可能な農林水産業づくり ～暮らしを支える一次産業を持続的に発展～

世界の食料需給などを巡るリスクが顕在化し、生産資材やエネルギー価格の高騰をはじめ厳しい状況に直面する中、我が国最大の食料供給地域であり豊富な資源を有する本道の役割がこれまで以上に高まっています。北海道、そして日本の未来を支えていくため、食料自給率に占める本道の割合を2030年度までに30%に向上することを目指し、本道の基幹産業である農林水産業の持続的発展に取り組みます。

■ 食料安全保障をリードする力強い農業・農村の確立

生産基盤の整備をはじめ、輸入依存穀物や自給飼料の増産、スマート農業の推進などに取り組みます。

（政策展開の方向性）

農業生産基盤の着実な整備や農地の集約化と効率的な利用を促進するとともに、農業経営の法人化や経営安定対策の推進、生産資材高騰対策、担い手の育成や確保など酪農をはじめ厳しい状況に直面する生産者を支援するほか、馬産地の活性化に取り組みます。また、輸入依存穀物や自給飼料の生産拡大に向けて積極的に取り組みます。スマート農業の導入を加速し、省力化や高品質化に取り組むとともに、クリーン農業や有機農業の拡大、新品種や栽培技術の研究開発を推進します。

■ 守り育てる水産業の発展

栽培漁業やスマート水産業を推進するとともに、道産水産物の魅力を広く発信します。

（政策展開の方向性）

漁業生産の回復と安定化に向けて、栽培漁業を拡大し、陸上養殖の技術開発などに取り組むとともに、漁業経営体の育成や漁港施設の改良整備、担い手の育成・確保、ロシア・北方四島周辺水域における操業機会の安定的な確保に取り組みます。また、スマート水産業の導入による収益性などの向上、藻場や干潟の保全などを通じたブルーカーボンの活用に取り組みます。全国豊かな海づくり大会を契機として、豊かな海を守り次の世代につなげていくよう取り組むとともに、豊かな道産水産物など本道の魅力を広く発信します。

（参考）ブルーカーボン：沿岸域や海洋生態系によって吸収・固定される二酸化炭素由来の炭素を指し、その吸収源としては、浅海域に分布する藻場や干潟などがある

持続可能な農林水産業づくり ～暮らしを支える一次産業を持続的に発展～

■ 循環型の森林づくりと林業・木材産業の発展

スマート林業の推進や道産木材の利用拡大、北森カレッジでの人材育成に取り組みます。

（政策展開の方向性）

スマート林業の導入とその実装を加速し、森林調査や計画的な植林など着実な森林施業とともに、木材の生産・加工などの効率化や省力化を促進し、道産木材の安定供給に取り組みます。また、「HOKKAIDO WOOD」ブランドの強化、店舗やビルへの道産建築材の導入といった利活用の拡大を図ります。北森カレッジにおいて実践的な人材育成など担い手の育成・確保に取り組むとともに、優良企業の創出など林業事業体の経営体質の強化を進めます。

■ 家畜伝染病などへの対応強化

高病原性鳥インフルエンザや赤潮被害など様々なリスクへの対応力を強化します。

（政策展開の方向性）

高病原性鳥インフルエンザの発生時の迅速な防疫措置や農場への侵入防止などの対策を強化します。また、赤潮の発生メカニズムの解明や被害軽減、ロードマップに基づく生産の回復に着実に取り組みます。ヒグマやエゾシカ、アザラシなどによる野生鳥獣被害対策に着実に取り組みます。

（参考）北森カレッジ：令和2年（2020年）に開校した森林づくりをリードする人材を育成する北海道立北の森づくり専門学院の愛称